

7/1-7#2 神は彼ご自身の定められた御旨にしたがって私たちを召す Bird's Eye View 2 テモテ 1:9 でパウロは言います、「神は私たちを救い、聖なる召しをもって召してくださいました。それは私たちのわざによるのではなく、彼ご自身の定められた御旨...によります」

A 神は、私たちを救って彼の祝福を享受させているだけでなく、聖なる召し、特定の目標のための召しをもって、私たちを召して彼の定められた御旨を成就するようにしています。**B** 神によって召されることは、彼の定められた御旨へと分離されることです。エペソ 1:11 その方の中で、私たちが嗣業として定められ、みこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行なう方の定められた御旨により、あらかじめ定められていたのです。**C** 2 テモテ 1:9 の定められた御旨は、神のみこころにしたがった神のご計画であり、私たちがキリストの中に置き、私たちをキリストと一にして、彼の命と地位にあずからせることです。それによって私たちが彼の証しとなります。**D** 神は彼ご自身の定められた御旨にしたがって私たちを救い、召しました。今や彼の定められた御旨は、私たちの目的となるべきです。**E** 私たちは、神の視点から救いを見る必要があります。神の救いの目的は、彼の創造され贖われた人が、子たる身分を持つこと、御子の命を持って、彼の御子のかたちへと同形化されることです。それによって、御子は多くの兄弟たちの間で長子となります。**F** 救いは、私たちが意義のない人生から救われることを含んでいます。**1** 福音は、私たちが意義のない人生から救い出して、宇宙の意義の中へともたらします。**2** 神は、大いなる意義と目的のある人を創造しました。しかし、人は墮落し、人生の意義は失われました。**3** 神は、彼の救いを用いて私たちを救い出し、私たちの当初の目的、宇宙の意義へと私たちを連れ戻します。**II** 神の永遠の定められた御旨は、ご自身を神の選ばれ贖われた人の中へと分与して、彼らを神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにし、拡大され拡張された神の表現を得ることで 1:5 みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミーが何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、11 神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てられた、永遠の定められた御旨にしたがっているものです。**A** ヨブ記は、私たちに二重の質問をします。それは、神が人を創造した目的と、神が彼の選ばれた民を対処する目的とに関してです。**1** この質問に対する答えは、神

のエコノミー、神の永遠の意図と彼の心の願いです。それはご自身を、彼の神聖な三一の中で、御父として、御子の中で、その霊によって、彼の選ばれた人の中へと分与し、彼らの命また性質となることです。それによって彼らは、彼であるのと同じになって、彼の豊満、彼の表現となります。1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。**2** 神が彼を愛する者たちを対処することは、損失を被らせることでさえありますが、その目的は、彼らが完全な程度にまで神を得て、神が彼らを通して表現され、人を創造したことでの神の永遠の定められた御旨が成就されることです。**B** 人を含む万物を創造することでの神の意図は、人が神とミングリングされて、キリストのからだとしての召会を生み出し、新エルサレムを究極的に完成して、彼の栄光ある表現とすることです。**C** 神の心の願いにしたがった神の永遠の定められた御旨は、キリストの有機的なからだとしての召会を得て、神の多種多様な知恵を現すことです。1:10 時代の満了時のエコノミーへ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとしたのです。**D** キリストのからだとしての召会は、神が彼の定められた御旨を成就して、彼のすべての問題を解決するのに用いる唯一の手段です。**1** 召会は、神聖な子たる身分の中で、御父の命と性質を持って、父なる神の表現、彼の栄光となります。**2** 召会は神の最大の誇りであって、天使の支配たちや権威たちに神の多種多様な知恵を知らせ、敵を辱め、打ち破って、神の王国をもたらします。**3** 召会は、命また光としてのご自身を私たちの中へと造り込むことを通して、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げるためです。**III** 神の永遠の定められた御旨を成就する生活をするために、私たちは神のみこころを認識し、行なわなければなりません コロサイ 1:9 こういうわけで、私たちがこの事を聞いた日から、あなたがたのために絶えず祈り、そして願い求めています。どうかあなたがたが、あらゆる霊的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ、**A** 神は定められた御旨のある神であり、彼ご自身の喜びのみこころを持っています。神はご自身のみこころのゆえに万物を創造して、神の定められた御旨を完成し成就するようにしました。**1** 神のみこころは、神の心の願い、神が人とミングリングすること、神の永遠の定められた御旨を成就することです。**2** 神のみこころは、キリストのためにからだを得て、彼の豊満、彼の表現とすることです。**B** 私たちは、神のみこころを知る全き知識

で満たされる必要があります。**1**コロサイにおける神のみこころは、神の永遠の定められた御旨に関する神のみこころ、キリストについての神のエコノミーに関する神のみこころです。**2**神のみこころを知る全き知識を持つことは、神のご計画に対する啓示を持って、神が宇宙で行なおうと計画している事を私たちが知ることで**a**神のご計画は、キリストを神聖なエコノミーの中ですべてとすることです。**b**神のご計画についての啓示は、私たちがキリストをさらに多く経験する道を開きます。**3**私たちに對する神のみこころは、私たちがすべてを含むキリストを知り、彼を経験し、私たちの命としての彼を生きることです。**4**主のものにふさわしく歩くことは、神のみこころを知る全き知識を持った結果です。そのような歩みは、私たちがキリストを生きる歩みです。コロサイ1:10 主のものにふさわしく歩いて、すべての事で主を喜ばせ、あらゆる善いわざで実を結び、神を知る全き知識によって成長し、ピリピ1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。**20** そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。**21** なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。**c** 私たちは来たるべき時代に天の王国の実現の中に入ろうとするなら、この時代に私たちの父のみこころを行なわなければなりません。マタイ7:22 かの日には、多くの者が私に言うであろう、『主よ、主よ、私たちはあなたの御名の中で予言し、あなたの御名の中で悪鬼どもを追い出し、あなたの御名の中で多くの力あるわざを行なったではありませんか?』**d** 「私に向かって『主よ、主よ』と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが入るのである」(7:21)**1** 主を呼び求めることは、私たちが救われるのに十分です。しかし、天の王国に入るためには、私たちはまた天の父のみこころを行なう必要があります。**2** 天の王国に入ることは、天の父のみこころを行なうことを要求するのですから、それは再生されて神の王国に入ることは明らかに異なっています。**a** 神の王国に入ることは、神聖な命から生まれることを通してです。**b** 天の王国に入ることは、神聖な命の生活を通してです。**3** 主の御名の中で予言し、悪鬼どもを追い出し、多くの力あるわざを行なった者たちを、主イエスは叱責しました。なぜなら、彼らは「不法の働き人」として、神のみこころに対する服従からではなく、自分自身からこれらの事を行なったからです。7:23 その時、私は彼らに宣

告する、『私はあなたがたを全く知らなかった。不法の働き人よ、私から去れ』。**4** 御父のみこころを行なうために、私たちは狭い門から入り、それから狭められている道を進む必要があります。7:13 あなたがたは、狭い門から入りなさい。崩壊に至る門は広く、その道は幅広い。そして、そこから入って行く者が多い。**14** 命に至る門は狭く、その道は狭められているので、それを見いだす者は少ない。**a** 狭い門は、古い人、自己、肉、人の観念、この世とそのすべての栄華を排除します。神のみこころに合うものだけがその中に入ることができます。**b** 私たちは狭められている道を進むとき、奥義的な、目に見えない、内側の管理によって制限されて、この管理の下で生きます。**5** 御父のみこころを行なう者はだれでも、主イエスの親族です。**a** 天の王であるキリストは、常に御父のみこころに服従し、御父のみこころをご自分の分として取り、何の抵抗もしませんでした。**b** 御父のみこころを行なう者はだれでも、主イエスを助ける兄弟、彼に同情する姉妹、彼を優しく愛する母です。**6** 王国の民は、御父のみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれるように祈る必要があります。これは、天の王国を地にもたらすことです。

CP1 天は地のため、地は人のため、人は神を受け入れるために霊を持ち、共に建造されて、団体的に神を表現し、神を代行して、神のために生きる
12 テモテ1:9「神は私たちを救い、聖なる召しをもって召してくださいました。それは私たちのわざによるのではなく、彼ご自身の定められた御旨...によります」
CEP とその下のアウトラインを読んでください。

私たちは以下の節の中に、宇宙の意義を見いだすことができます。創世記1:26 神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに...治めさせよう」。**27** そして、神は人を彼ご自身のかたちに創造された。すなわち、神のかたちに人を創造し、男と女に彼らを創造された。**28** 神は彼らを祝福された。そして神は彼らに言われた、「生めよ、また増えよ。そして地に満ちよ、そして地を従わせよ。そして...治めよ」。ローマ8:29 神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。**30** そして神はあらかじめ定めた者たちを、さらに召し、そして召した者たちを、さらに義とし、そして義とした者たちを、さらに栄光化されました。神は、天と地と多種多様な多くの生物をもつ宇宙を計画されました。それだけでなく、神はまた、人を創造することを計画されました。...天文学者は、地球から銀河系の中心までの距離は最低でも、地球から月までの距離の六千四百万倍であ

ると言っています。宇宙の広大さは人の頭では完全に把握することができません。...それにもかかわらず、聖書ははっきりと、宇宙の意義は、神が一群れの人を得て彼の表現また代行とならせるという神の願いと関係があることを告げています。

適用:青少年・大学生、新人編

証「天は地のため、地は人のため、人は神を受け入れるために霊を持ち、共に建造されて、団体的に神を表現し、神を代行して、神のために生きる」。これが宇宙の意義であり、人生の意義です。これが聖書に啓示された宇宙に関する、また人生に関するあらゆる質問に対する神の解答です。[ゼカリヤ 12:1](#) 天を延べ、地の基を据え、人の霊をその中に形づくられたエホバはこう告げられる。**FN**神は彼の創造において、三つの鍵となる、等しく重要な項目を造りました。それは天、地、人の霊です。天は地のためであり、地は人のためであり、人は神によって霊のある者に創造されました。それは人が神と接触し、神を受け入れ、神を礼拝し、神を生き、神のために神の定められた御旨を完成し、神と一になるためです。神のエコノミーにおいて、神はキリストを地上での彼の行動の中心性と普遍性とすることを計画されました。彼の選びの民が創造主また贖い主としての彼に関心を持つために、彼は受け入れる器官を創造して、神が計画したキリストであるすべてを、人が受け入れる能力を持つようにする必要がありました。ですから、本書で私たちに私たちの人の霊に完全な注意を払うようにと命じるのです。

また、創世記1:26-28によれば、人が神を入れ、神を内容とし、神を表現し、神を代行し、すべての人、事、物、そしてサタンを治めることを、神は願われます。神は、私たちクリスチャンが私たちの周りの混乱を支配することを願われます。そのために、神は彼の命と権威を私たちに与えました。私は大学生の時に、この宇宙の意義と人生の意義を見て、喜びで満たされました。私は進学等でキリストを適用し、満足することを学び始めました。しかし、「治める」ことについてはよく分かりませんでした。「そんなことは私にはできない」と思っていました。

しかし、51歳で転職した時、その会社は政府からのペナルティにより、約10%の売り上げを失っていました。そのペナルティの原因は、私の部署に起因していたので、私の部署は大混乱の状態でした。その時、私はこの「治める」ことの神の願いを思い出し、主の命の中ですべての人、事、物、そしてサタンを治めることを祈り、実行しました。政府からの様々な厳しい要求、学会のリーダーである医師からの圧迫、米国本社からの経済的な極めて厳しいプレッシャー、新規に採用した部下たちの経験不

足、他部署からの攻撃などの様々な問題の中で、主の命の中ですべての人、事、物とサタンを支配することを少しずつ学びました。驚いたことに、私の期待をはるかに超えて、私の部署は、明らかに毎年良くなりました。そして5年後には、米国本社が私の部署を「全社で最も優れた部署」と言ってくれるようになりました。

祈りおお主イエスよ、人が神を入れ、神を内容とし、神を表現し、神を代行し、すべての人、事、物、そしてサタンを治めることを、神は願われます。神は、私たちクリスチャンが自分の周りの混乱を治めることを願われます。そのために、神は彼の命と権威を私たちに与えました。私たち召会は、神のエコノミーの目標であり、宇宙の存在意義です。私たちが霊を活用し、主の命の中で治めることは、人の人生の意義でもあります。

CP2神のみこころは、私たちがすべてを含むキリストを知り、彼を経験し、彼を生きることである

III神の永遠の定められた御旨を成就する生活をするために、私たちは神のみこころを認識し、行なわなければなりません。[コロサイ1:9](#) こういうわけで、私たちもこの事を聞いた日から、あなたがたのために絶えず祈り、そして願い求めています。どうかあなたがたが、あらゆる霊的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ、**B**私たちは、神のみこころを知る全き知識で満たされる必要があります。**1**コロサイにおける神のみこころは、神の永遠の定められた御旨に関する神のみこころ、キリストについての神のエコノミーに関する神のみこころです。**2**神のみこころを知る全き知識を持つことは、神のご計画に対する啓示を持って、神が宇宙で行なおうと計画している事を私たちが知ることで、**a**神のご計画は、キリストを神聖なエコノミーの中ですべてとすることです。**b**神のご計画についての啓示は、私たちがキリストをさらに多く経験する道を開きます。**3**私たちに対する神のみこころは、私たちがすべてを含むキリストを知り、彼を経験し、私たちの命としての彼を生きることです。**4**主のものにふさわしく歩くことは、神のみこころを知る全き知識を持った結果です。そのような歩みは、私たちがキリストを生きる歩みです。[1:10](#) 主のものにふさわしく歩いて、すべての事で主を喜ばせ、あらゆる善いわざで実を結び、神を知る全き知識によって成長し、[ピリピ1:19](#) というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。**20** そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、

今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。21 なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

私たちはすべての事でキリストを所有し、経験し、適用する必要があります。...私はあなたがたすべてに、主の恵みによってこれら三つのことのために毎日祈る決意をするように求めます。第一に、あなた自身のために祈りなさい、「主よ、毎日、私を思い起こして、私が日常生活の中であなたの中を歩くように、あなたを経験するように、あなたをあらゆる事に適用するようにさせてください」。...私たちは日常生活の中で、このようにキリストを経験し、適用する必要があります。...第二に、私たちは聖徒たちのために祈る必要があります。私たちと共にいる人たちのためだけでなく、遠く離れている人たちのためにも祈る必要があります。彼らを覚え、彼らのために祈り、全召会のために祈りなさい。第三に、主が彼のすべての子供たちの間で、彼のみこころに対する認識と経験を回復してくださるよう祈りなさい。...あなたがた自身のために祈り、諸召会のために祈り、すべてを含むキリストと彼の真の表現に関する彼のみこころの回復のために祈りなさい。これは主の思いにしがたっています。

適用: ビジネスパーソン、大学院生編

証 召会生活を始めてすぐの頃、人生の大きな選択、例えば大学院に行くべきかどうか、転職すべきかどうか、どこに住むべきか、といったような事柄において、祈って主の御心がどこにあるのか知りたいと思っていました。主が示してくださる道を行けば、いろいろなことが順調に行って、失敗がない道だと思っていました。しかし周りの姉妹たちは、私がうまく選択できるようにと祈るのではなく、私が選択する時に主に依り頼み、主を経験できるように、主が増し加わりますようにと祈ってくださいました。主の尊さをまだ知らず、主が増し加わることの益を理解していなかったため、主は私の選択に興味があるのではなく、私の中に主ご自身を造りこむことに関心があると説明してもらっても、あまりピンときませんでした。しかし召会生活を始めて主を享受するようになってから、主を得ることこそが、自分が欲しているものをダイレクトに得ることであると理解するようになりました。

例えば良い仕事や幸せな家庭を得たいと思うのは、安心、平安、満足が欲しいからです。主を得るなら安心、平安、満足が得られることがわかりました。逆に人がうらやむような仕事や家庭を得たとしても、主の平安がなければ真の平安はありません。環境に問題がある時でも、御言葉を祈り読みすれば環境は変わらなくても平安を享受することができます。そうすれば自己が減少し、キリストが増し加わります。

祈り おお主イエスよ、私は神の永遠の定められた御旨を成就する生活を持つ必要があります。そのために私は次の3つの事を毎日祈る必要があります: ①私が日常生活でキリストを経験し適用できるように、②聖徒たちのために、特に遠く離れている人たちが召会生活を回復できるように、③すべての聖徒たちの間で主の御心に対する認識と経験が回復されるように。それは私が神のみこころを認識し行うためです。

神戸に在る召会交わりと報告事項

1. 諸召会等の訪問:

7/1-8/30 宋劉劍君S(佳穂Sのお母さん)

7/5-8 台北31集会所 25名

6(土)18:00~20:30 @魚崎 愛宴&集会

7(主)9:30~ @各地区、集会&ランチ

7/13-15 台北61集会所(北投)100名(内60名
神戸宿泊、大阪・東大阪120名)

13(土)17:00~18:00@魚崎 愛宴

18:00~20:00 集会

14(主)10:00~12:00 主日集会

12:00~13:00 ランチ

18:00~19:00 神戸宿泊60名とブレン
ディング夕食(本山、六甲)

19:00~19:30 交わり

19:30~20:30 夜の主日集会

7/16-8/16 周洪斌B、李徳英S

7/25-28 彰化郡瑜Sと弟さん(在職青年)

2. 7月ビデオ訓練: 7/12(金)-8/3(土)

金曜日: 19:30-21:00、土曜日: 8:30-12:00

場所: 第一大地区@本山、第二大地区

金曜日@三宮、土曜日@六甲

※金曜日のビデオ訓練に参加出来ない在職の兄弟姉妹は、土曜日16:30-18:00@本山でビデオ訓練に参加してください。

3. 2024年SST(真理のサマースクール):

8/12(月)-17(土)東京基臨ビルで行われます。締め切りは6/30(主)です。

現在、13名の青少年、7名の奉仕者が参加します。若者が夏休みを聖別して、真理の中へと入り込み、仲間たちと共に主をエンジョイすることができるようにお祈りください。